

# ギャラリー恵風 ニュースレター 2011.3

3月1日(火) - 3月6日(日)

## 第39回 山田実 個展 - EHO (Lucky Direction) -

展示場所であるギャラリー恵風1Fから恵方(南南東)の方角を表しました。  
北山杉、ステンレスを素材に設置位置の緯度、経度、高度をGPSを用いて計測して記入しています。  
また、展示空間全体に「水」の音を流しています。  
この事で、場と方向と素材の関係性を総合的にイメージしました。  
(山田)

[プロフィール] 山田実 / Minoru Yamada  
1979年より京都を中心に活動を始める。主に京都アンデパンダン展、京展、京都美術展等に出品。  
1984年からは京都彫刻家連盟(現在 京都彫刻家協会)に入会。京都野外彫刻展、協会展等に毎年出品。  
1984年から現在まで、京都を中心に個展を開催。今回39回目の個展。  
1998年第25回個展からは北山杉を素材に展示空間を含めた立体的な作品を発表。  
近年は音響を取り入れた総合的造形空間を創造。

3月8日(火) - 3月13日(日)

## 京都造形芸術大学版画工房ポートフォリオ 展 - 30x30の窓 -

京都造形芸術大学美術工芸学科の版画表現専攻による、「30x30の窓」展も今回で6回目となります。版画表現クラスの学生と教員、版画工房スタッフ、合わせて20名の作品からなる版画集を展示します。  
今回の展覧会では例年と違い、企画から展示までのすべてを学生が行いました。30x30cmの画面に広がるそれぞれの版画表現の世界をぜひ御高覧下さい。  
(一同)

・出品メンバー  
Ana Lorena Lima 岡田啓伸 片桐秀 神谷徹 楠田祥子 坂爪厚生 科野和子 清水博文 高井信子 武田あずみ 谷津有香 中林忠良 西住恵子 西村朗 長谷川可奈 三浦真衣 三島智子 目良真弓 本岡千尋 森本玄  
(計20名 50音順)

3月15日(火) - 3月20日(日)

## 谷口順子 展 - Blue る -

「Blue る」というタイトルをつけたのは、青を、名詞としてではなく、動詞として捉えたかったからです。画面の中に存在する線を、見る人の心の中で動かすことができたら、幸いです。  
(谷口)  
[プロフィール] 谷口順子 / Junko Taniguchi  
1999年 京都造形芸術大学大学院芸術研究科修了  
個展  
1997年 ギャラリーココ(京都) '99 '00  
1998年 同時代ギャラリー(京都)

1999年 ギャラリー白(大阪)  
2002年 CUBIC GALLERY '03 '04 '05 '06 '07  
2007年 ギャラリー恵風(京都) '09  
グループ展  
1996年 「二人展」 ギャラリーすずき(京都)  
2000年 「フィリップモリスアートアワード2000最終審査展」、恵比寿ガーデンプレイス・ガーデンルーム(東京)  
2005年 「シェル美術賞展2005」代官山ヒルサイドフォーラム(東京)  
2006年 「gallerium 2006」大阪府立現代美術センター(大阪) 受賞  
2005年 「シェル美術賞展2005」[松井みどり審査員奨励賞]

# 2F

3月1日(火) - 3月6日(日)

## 田中裕子 個展

華麗な華を咲かせた後、自らの養分をすべて使い果たしつつも必死に美しさを残そうとしている紫陽花に言いようもない刻の流れを感じました。冬山に佇む紫陽花の姿からは、生きている私たちの時間とは異質のゆっくりとした時間の流れが連想され、命あるものを見つめる時間をもらいました。「枯れ」を見つめることによって感じた時間の流れを近作では、クラゲを題材に展開し表現しています。この展覧会で私の見つめた生き物の呼吸、命あるものをとりまく湿度、空気を感じて頂けたら幸いです。  
(田中)

[プロフィール] 田中 裕子 / Yuko Tanaka  
1982年 福岡県生まれ熊本県育ち

現在 京都造形芸術大学大学院 芸術専攻 博士後期課程 2年生在籍  
2007年 京展 入選(同08、09年/10年 京展賞)  
京都造形芸術大学日本画研究室選抜新人作家展 画心展(08、09年優秀賞)  
2008年 再興第93回 院展 入選(同10年)  
第1回ラ・プリマベラ賞受賞 これによりニューヨークへ研修  
2009年 羅針盤セレクション「様々な二ホン画 vol.1」(東京・アートスペース羅針盤)  
2010年 第65回 春の院展 初入選  
第19期 佐藤国際文化育英財団奨学生展(東京・佐藤美術館)  
2011年 第3回「京都日本画新展」(美術館「えき」KYOTO・ホテルグランヴィア京都/京都)

3月8日(火) - 3月20日(日) ※3/14(月) 休廊

## 植田麻由 展

- はるのぐうい -  
まだまだ寒い春のはじまり、それでも景色は霞み柔らかな陽射しを感じ始めます。早春の日々、あなたはどのような香りに触れ、どのような感触を味わいますか?今年のはじまり、これからはじまり、始まりの静かなパワーがそこにあるように思っています。こころに見える二次元の映像を三次元の世界に現すとどのように見えるだろう。その映像が存在するであろう、こころの広場を私は「A Garden of Feelings」と題し、表現している。  
(植田)  
[プロフィール] 植田 麻由 / Mayu Ueda  
2000年大阪芸術大学大学院芸術制作研究科修了。

1998年より、やきものによる造形作品の発表を開始する。  
2009年より「A Garden of Feelings」を発表。2010年より「A Lump of Feelings」制作開始。兵庫県神戸市出身、在住。  
<個展>  
1998年 SELF-SO ART GALLERY(大阪)  
1999年 CUBIC GALLERY(大阪)('02、'05、'07、'07、'09)  
2000年 ギャラリー マロニエ(京都)  
2010年 GALLERY 301(神戸)  
■2011年3月11日(金)~13日(日) STUDIO Y3(神戸)にてCAP ART MARKET 2011に参加。  
[http://www.cap-kobe.com/studio\\_y3/](http://www.cap-kobe.com/studio_y3/)

日脚が少しずつ伸び始め、ゆっくりと春めいて参りました。  
皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
いつも恵風の活動にご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
早速ですが今月は9つの展覧会をご紹介します。

まず前半の1階、1日からは今回39回目の個展とおっしゃっているベテラン山田実さんの立体造形の作品展。恵風3回目、「EHO—恵方」今回はどんな風が吹くでしょうか。

8日からは、「京都造形芸術大学オリジナル版画集'10」出版記念展。毎年、メンバーも少しずつ入れ替わり、様々な技法を凝らし更なるレベルアップを目指す小品展です。

15日から2年ぶり3回目谷口順子さんのエネルギッシュな油彩画展。生きている彼女の命・心を伝えます。

2階は、1日から日本画の田中裕子展。目を見張る成長を感じさせる期待の若手作家。透明感のあるマチエール、詩情豊かな色彩をお見逃しなく!

8日からは、陶芸の植田麻由展。春を待つ暖かい光のようなかわいい作品です。お楽しみに。

後半1階、22日から奥田美恵子さんの陶芸展。恵風では3回目の登場、今回は生命感あふれるインスタレーション等々。

29日から大西治・雅子さんのユニット、一青い鹿一。皆さんと一緒に楽しく体験しましょう。

2階では、22日から、一旅のかたちと題した國松万琴さんの陶芸展。素敵な旅へと導いてくれます。  
29日からは、墨でモノクロームの世界を追求する横田順展。シンプルな大人の作品をお楽しみ下さい。

一度にたくさんのご案内を致しましたが、どれも力の入った作品展です。  
ご多忙とは存じますが、是非ご来場賜りますよう心よりお待ち申し上げます。

敬具 野村恵子

発行: ギャラリー恵風  
発行日: 2011.2.15.  
〒606-8392  
京都市左京区丸太町通東大路東入ル南側  
TEL: 075-771-1011  
FAX: 075-771-0358  
E-mail: g-keifu@hotmail.co.jp  
URL: <http://keifu.blog86.fc2.com>